

三重大学は、学術文化の発信・受信拠点として「人と自然の調和・共生」を大切にしながら、地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出すことを目指しています。そのために、「感じる力」「考える力」「生きる力」がみなぎり、地域に根ざし、また国際的にも活躍できる人材の育成を目標にしています。すなわち、基盤となるコミュニケーション力を培い、問題発見力、課題探求心、論理的思考力、実践的問題解決力を身につけて社会に貢献しようとする学生を育てることを目指しています。そのため、平成17年4月高等教育創造開発センターを設置し、本学独自のPBLチュートリアル教育を開発しながら平成19年度までに共通教育、各学部の特徴を生かした教育プログラムの全学展開を計画しています。

## 高等教育創造開発センター

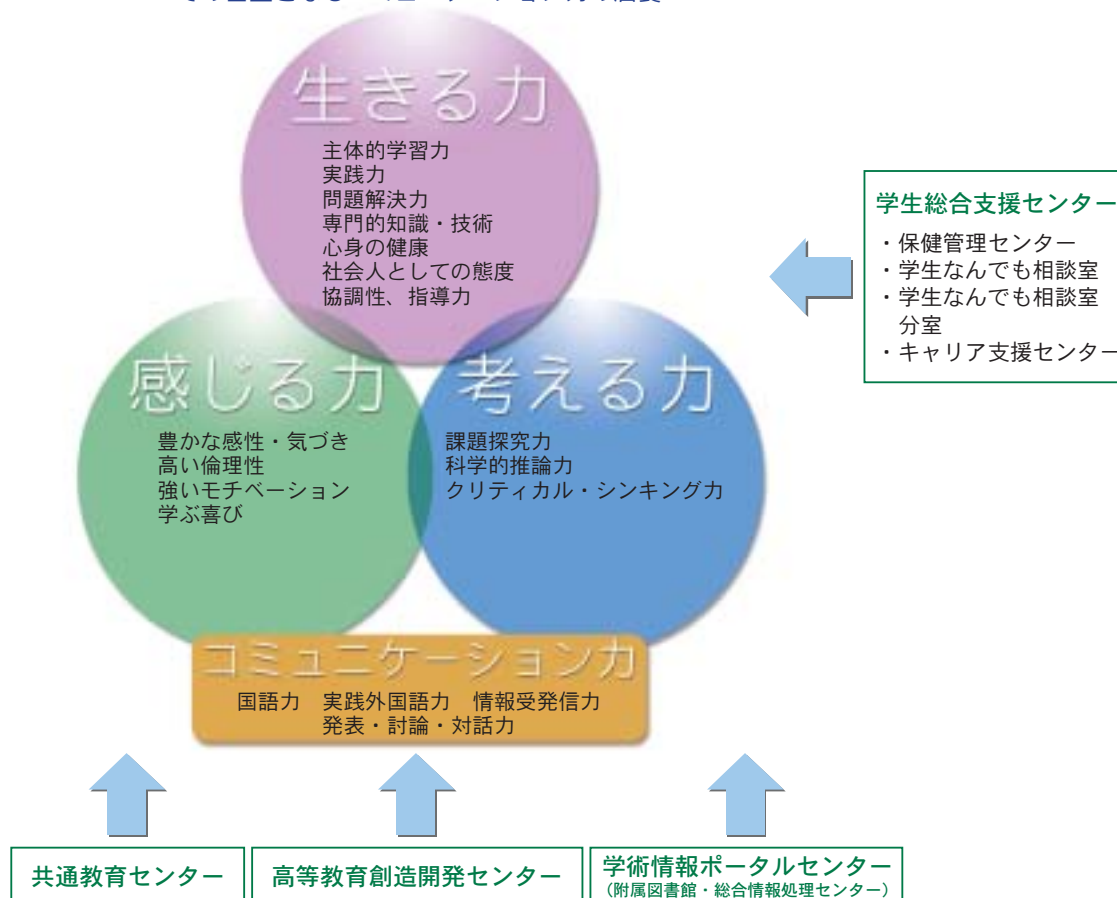
三重大学では、平成17年4月『「感じる力」「考える力」「生きる力」がみなぎり、地域に根ざし国際的にも活躍できる人材を育成する』という本学の教育目標の達成に向けて三重大学高等教育創造開発センターを設置しました。同センターは、教育開発部門、教育情報システム部門、教育評価部門及び教育連携部門の4部門で構成された学内共同教育研究施設として教育諸活動の創造開発促進支援を先導的に進めていきます。

## 共通教育センター

共通教育の企画・改善と効果的な運営を行うことを目的として、平成16年5月に学務部門、教養教育部門及び実践教育部門の3部門からなる共通教育センターを設置しました。豊かな教養と学問の基礎的素養を学際的な広い視野のもとで育成する教養教育の充実に向け、実践外国語教育の導入や共通教育のカリキュラムと教育方法の一層の改善を図っています。

## 教育目標

「感じる力」「考える力」「生きる力」と  
その基盤となるコミュニケーション力の涵養



## PBLチュートリアル教育

三重大学では、少人数の課題探求型学習形態を取り入れたPBLチュートリアル教育を全学的に展開しています。この教育方法は、小グループで能動的な学習法を取るため、コミュニケーション能力が高まり、問題解決レベルの深い知識として永く記憶に留まるとともに、人間性をも磨くことができます。

## e-learning

三重大学では、PBL教育推進に向け、言葉や文書のみならず情報システムを活用したコミュニケーション力を養うためe-learningを活用した教育方法を導入しています。

このシステムでは、総合情報処理センターの協力を得て、PBLの事例シナリオ等をウェブ(moodle)で配信したり、1台のノートパソコンと液晶モニターを用いてチュートリアルタイムでの小グループ討論やウェブを利用した学生相互での情報共有・ディスカッション・理解深化活動が行えるとともに、授業時間外における教員学生間の質疑応答や学習の足跡とふりがえり(省察 reflection)の記録(Portfolio)もウェブで行うことができます。

## 日本技術者教育認定機構(JABEE)認定の教育プログラム

三重大学では、工学部機械工学科、生物資源学部生物圏生命科学科及び共生環境学科地域保全工学講座における技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているとして、日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定を受けました。JABEEにより認定されたプログラムは、専門技術者教育において社会的に求められている一定水準をクリアしていることが保証され、国際的に通用する専門技術者教育を行っていることを示しています。

## TOEIC等を活用したコミュニケーション力の向上

共通教育の実践英語教育では、TOEIC IPテストを入学式直後に行い、習熟度別クラスで英語の授業を実施し、中国語では、中国語統一試験を導入して実践外国語能力を評価するシステムを開始しています。また、医学部では医師に必要な基礎学力を確認するための全国共用試験CBTを実施し、さらに共通教育と国際交流センターとが連携して日本語コミュニケーション科目「日本語でコミュニケーション」を開設するとともに、平成18年度から共通教育の授業内容に日本語表現法を活用することも決定しています。

## 文部科学省大学教育改革支援プログラムに各取組が採択

個性輝く大学づくりなど、高等教育の活性化を促進させる目的で設けられた、文部科学省の「平成16年度特色ある大学教育支援プログラム」に、本学の取組「社会のニーズに即した人間性豊かな医師養成 - 地域社会を学びの場にしてい - 」が採択されました。また、「平成16年度現代的な教育ニーズ取組支援プログラム」では、知的財産関連教育の推進分野で「全学的な知的財産創出プログラムの展開」が採択、さらに「平成17年度派遣型高度人材育成協同プラン」では「地域圏バイオ・メディカル創業人材の育成」が相次いで採択されるなど、三重大学の教育面での取組が特に優れたものであると評価されたことを示しています。

## 高校との教育連携事業の推進

三重大学では、医学部、工学部及び生物資源学部の協力の下にスーパーサイエンスハイスクール事業の推進に貢献しています。また、高校との教育連携推進のための協議会を継続的に開催し、高校生を対象とした公開授業(東紀州講座)及びサマーセミナーを開始するとともに、高大連携授業の単位化の可能性も検討しています。

## 学生総合支援事業

学生総合支援センターでは、個人面接による対応から各種のグループ活動及び全学に向けた広報・啓発活動まで、それぞれの学生の状況に応じて幅の広い支援メニューを検討し実施しています。一方で、学生生活を構成している4つの側面(修学・生活・健康・就職)について、それぞれ、保健管理センター、学生なんでも相談室、キャリア支援センター及び就職支援室等で相談に応じたり、情報の提供を行い、学生を支援しています。